

伝承の地を訪ねて

「上小田の柳神社」 「養父市八鹿町上小田」

柳の根株を祀った神社

養父市八鹿町上小田区の柳神社。小高い丘の上に鎮座する神社の眼下には、但馬で1番大きい河川・円山川が流れている。樹木が付いた珍しい神社の名前は、この川にまつわる1つの伝説が由来となっている。

その昔、村人たちは毎日川を渡って耕地を耕しに行き、夕方になるとまた川を渡り帰っていった。たいていの日が、帰る頃には暗くなっていたらう。暗夜の川渡りは、足を踏み外して淵に落ちると危険だ。ところが円山川の浅瀬の中ほどには、夜になるとぼんやりと妖しい灯がついており、この灯を頼りに安全に川を渡ることができた。人々は不思議に思い、光っていた周辺を昼間に調べてみると、古びた柳の株が川原石の間に埋まっていたのを発見した。夜に灯る光のおかげで安全に川を渡ることができると感謝して、村人たちはこの古株を氏神として祀った。円山川に沈んでいた柳の木がご神体となり、現在も村の守り神となっている。

豪雨になると円山川の流れが何度も変わるような生活の中で、柳神社の伝説は川と共に生きた先人の苦勞を物語っている。

《協力》養父市教育委員会 社会教育課



神社の裏側には約1500年前に造られた古墳がある。円山川が一望できる尾根の先端にあり、古墳時代から円山川と共に人々が生活した証を感じることができる。



※写真はイメージです

防カビ 除湿 脱臭 抗菌 防虫

呉服安心 漢方敷 (かんぼうじき) 1枚 600円 縦35cm×横97cm

最高級の特製和紙で作られたタンス敷紙です。ウコンと2種類の天然鉱石(トルマリン・ゼオライト微粉末)を配合し、「半永久的な効力」で大切なお着物を守ります。

きものクリーニング 1割引 (8月末まで) 大切なきものを いつまでも美しく



KIMONO SALON KEITANI

〒668-0084 兵庫県豊岡市福田1887-1
フリーダイヤル 0120-529-008
kimonosalon-keitani@live.jp



ハイスクール キラリ組

“キラリと光る”但馬の子どもたち！
未来を担う高校生をご紹介します

be to HERO 04

アンテナショップ
「ありこや」

【兵庫県立出石高等学校】

交流活動で地域の魅力を発信！ 高校生のアンテナショップ



部員によって
絵柄やデザインが
異なるので、
その違いも
楽しんで欲しいです！



教育方針の1つに「地域を担い、地域とともに発展する学校」を掲げている出石高等学校。生徒たちは部活動の一環で作品販売や呈茶などを通して、積極的に観光客や地域との交流を行っています。今回はアンテナショップ「ありこや」の活動について取材しました！

4～12月の期間中、月に1度「豊岡市立美術館—伊藤清永記念館—」の一画で出店している。営業時間は11～14時。
*令和2年度の活動については未定、詳しくは高校のホームページをご覧ください。

豊岡市の観光名所「城下町出石」にある県立出石高等学校。同校では月に1度、「伊藤清永記念館」横にアンテナショップ「ありこや」を出店して観光客や地域の人たちとの交流活動に取り組んでいる。

書道部、美術工芸部、茶華道部、家庭部の生徒たちが集まり、各部で制作したポストカード、コースター、カレンダーなどの作品展示や実演販売の他、焼き菓子や抹茶を提供。毎回お茶を飲みを訪れる常連客もおり、地域住民の憩いの場にもなっている。

「初めて接客をした時は緊張も少し抵抗があったけど、何度か経験する内に慣れてきて今ではお客さんとの会話が楽しめるようになりました。その場でリクエストに応じて書を揮毫する時もあり、求められるものを瞬時に生み出すのは大変ですが、喜んでもらった時の達成感はやりがいいにも繋がっています。お城まつりの様なイベントの時には、大きな筆を使った書道パフォーマンスも行っているので、ぜひ地元の方にも見に来て欲しいです」とは、書道部の渡邊智陽くん。この活動を通して、より一層書道が楽しくなると話してくれた。

大切にしているのはお客さんとの「対話」。「1年生の時には声も小さく

接客に消極的だった生徒が、3年生になる頃には自主的にお客さんと話せるようになって今では心強い。生徒たちのコミュニケーション能力が上がっているのを感じます」と、教員からは成長を喜ぶ声があがる。

また、同校では一般の方が生徒と一緒に講義や実習などを受講できる「地域オープン講座」の取り組みもしており、積極的に地域と関われる生徒の育成を目指している。

「他の学校ではあまりない経験ができていると思うので、これからもまちとの交流活動を通して地域に愛される学校にしていきたいです。出石らしいデザインの作品も考えているので、観光に来られた方にはぜひ手にとりたい。ただ、旅の思い出にしてみらえるといい」と、美術工芸部の椋木祐尊くん。より多くの人に来てもらえるよう、看板やポスターなどを使って誘客に繋がりたいと話す。

今後は美術工芸部がデザインした柄で家庭部がマスクを作ったり、各部のコラボ作品も制作していく予定だ。それぞれの特色を活かしたアンテナショップならではの newcom 品に注目したい。地域に根ざした高校生たちの交流活動。但馬の小京都・出石では、彼らの明るい笑顔が迎えてくれるだろう。